

NIMBYなごみ焼却場から地域に望まれる環境未来型エコプラントづくりプロジェクト(概要)

～ 環境未来型のエコスタイルが実現された社会をめざして ～

平成23年3月京都市木津川市

※NIMBY(ニンビー)…Not In My Back Yard:自分の裏庭には作ってほしくない

現状と課題(提案の背景)

- ・現在、木津川市では隣接する精華町と共同して可燃ごみを処理するクリーンセンター(ごみ焼却場)の建設をすることが喫緊の課題となっている。
- ・一方、日常生活から排出される“ごみ”を資源として活用することに対する意識改革が十分でない。
- ・関西文化学術研究都市の中核都市として発展するためにも、クリーンセンターを環境未来型のエコプラントとして整備し、超高齢化に対応した社会システムの重要な都市施設として活用することが求められている。

○ごみ・ごみ焼却場に対する意識改革

これまで

- ・きたないもの
- ・不要物
- ・人の嫌がるもの



これから

- ・都市から生まれた“新たな資源”
- ・熱エネルギー源
- ・クリーンなエネルギー供給施設

○超高齢化社会における社会ツール ～ 移手段など～

これまで

- ・マイカーで移動
- ・家族の協力



これから

- ・マイカーでの困難となるため、移手段の支援が必要
- ・高齢者世帯のごみ出し支援などが必要

目指すべき将来像

●取組みのねらい等

【ねらい】

- ・環境未来型エコプラントから生み出される熱エネルギーを自家発電に利用し、その発電量を超高齢化社会のツールとして活用することで、循環・低炭素型社会を意識した環境未来型エコスタイルの実現を目指します。
- ・また、社会ツールの技術開発を展開することに併せて、環境未来型エコスタイルを提案し、3R(リデュース、リユース、リサイクル)を実践するため、超高齢化を前提とした地域コミュニティの構築を目指します。
- ・加えて、クリーンセンター周辺の里山のランドスケープを活かした人間と自然との新たな関係の発信を目指します。

【エコスタイルを実現するための社会ツール】

- ・次世代型コミュニティタクシー、次世代型ごみ収集・運搬車両、次世代型充電ステーション、高効率発電施設 など

【実施主体】

- ・社会ツールの開発や超高齢化における地域コミュニティの支援策のスキーム検討などをするために、実施主体(木津川市)に加えて関連企業・大学・市民と協働して取組みを展開します。

●H23年度以降の展開

- ※社会ツールの技術開発・実用化
- ※関連企業・市民とのプロジェクトチームの設置・検討
- ※施設周辺の自然・里山環境の保全・活用策の検討
- ※環境未来型エコプラントの建設

スケジュール(案)

平成23～24年度
・プロジェクトチームの
設置、検討等

平成25～27年度
・プラント整備

・環境未来型エコプラントの
稼働
・環境未来型エコスタイルの
実践

社会ツールの実用化等

●将来の目標像

環境未来型のエコスタイルが実現された社会 !!

